

# 東京から「大道芸」を変える

## 大道芸ライセンス制始まる

# しずおか大道芸新聞

第5号

九月、東京都で大道芸の「ライセンス」が交付された。都が主催する、「ヘブンアーティスト」制度。オーディションに合格しライセンスを得たパフォーマーは、都内の公園や地下鉄駅構内など、指定された公共の場所で大道芸ができる。



二次審査の公開オーディションには、大勢の観客が集まった。(七月三十一日、都庁前広場)

この事業の主旨は、「アーティストに活動の場所を提供すること」と都生活文化局文化振興部の吉田哲久さん。「ストリート活動の規制ではない」と強調する。

日本では、大手を振って大道芸ができる場所というのは極めて少ない。都内でもこれまでは、路上や公園でパフォーマンスが行われては警察や管理者が取り締まる、というイタチこっかが繰り返されてきた。

今回の取り組みでは、大道芸を「芸術文化」と位置付け、日常生活の身近なところに根付かせていこうと、画期的な方向転換をした。

そもそもの発端は、都の文化政策の変化にある。平成十二年、都は「都市全体が文化空間となるような取組」を打ち出す。その一つとして、様々な文化活動への「公共空間の開放」が推進された。例えば、都の施設を美術作品の展示の場にしたり、演劇の練習場として低料金で貸し出し

たり。そして平成十三年夏、石原慎太郎都知事が、ニューヨークやパリの地下鉄構内のようにパフォーマンスをライセンス制でやれないかと提案、準備が進められた。

### ライセンスへの道

「ヘブンアーティスト」の募集は、平成十四年四月～五月末まで行われた。

応募資格は「東京」を拠点に、音楽やパフォーマンス等の分野で活動している新進・若手アーティスト（募集要項より）。実際には合格者を見ると、「東京」や「若手」にこだわってはいないようだ。最高齢は七十九歳、紙芝居の方。

一次審査は、書類と写真、および任意提出のビデオ・M

D等で振り分けられた。今回の応募総数は六四七組（パフォーマンス部門二九二組、音楽部門三五五組）。一次審査を通過したのは二四七組（パフォーマンス部門一四九組、音楽部門九八組）。

二次審査は、都庁前広場に於て、公開オーディション。七月末～八月初めの五日間に渡って行われた。

一組当たり持ち時間十五分。一般のお客さんを前に、実際のストリートパフォーマンスの形式。

審査員は、小沢昭一氏（俳優・演出家）、萩本欽一氏（コメディアン）はじめその道では著名な顔ぶれの九人。

最終的な合格者は一四〇組（パフォーマンス部門一一五組、音楽部門二五組）。

「一定のレベルをクリアし、

### ヘブンアーティスト・ジャンル一覧

合格者総数：140組

#### パフォーマンス部門 (115組)

- パントマイム (27組)
- ジャグリング (20組)
- ダンス (8組)
- 日本伝統芸 (8組)
- アクロバット (5組)
- クラウン (5組)
- マジック (3組)
- その他

#### 音楽部門 (25組)

- 民族音楽 (4組)
- ジャズ (3組)
- クラシック (3組)
- ギター弾き語り (2組)
- アコーディオン (2組)
- 三味線 (2組)
- その他

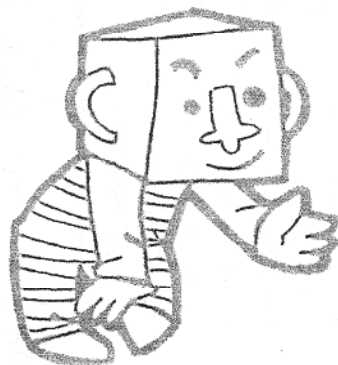
ヘブンアーティスト活動場所一覧(9月現在)

|       |   |
|-------|---|
| 公園    | 上野恩賜公園<br>代々木公園<br>井の頭恩賜公園<br>光が丘公園<br>シンボルプロムナード公園 |
| 地下鉄構内 | 新宿西口駅(♪)<br>都庁前駅(♪)<br>上野御徒町駅(♪)                    |
| 都庁    | 都民広場<br>展望室(♪)                                      |
| その他   | 東京体育館・広場(☆)<br>江戸東京博物館・広場<br>東京国際フォーラム・プラザ(☆)       |

♪は音楽のみ。☆はパフォーマンスのみ。

年配の方から若い人まで楽しめるもの」という基準で選ばれた。  
ライセンス取得者の所在地は、東京近郊・関東地方がおよそ九割、その他静岡や大阪、遠くは富山からも来たという。  
ここで観られる！  
ヘブンアーティストの活動場所は、左表の「都の施設」内となる。場所はこれから増やしていく予定。歩行者天国の路上や民間の施設に広げることにも検討している。  
公演時間は、各場所とも午前十一時〜午後四時。  
アーティストが事前に事務局に申し込んで、場所と時間を予約するという形で当面は運営される。  
公演スケジュールは、東京都のホームページで見ること

ができる。  
<http://www.metro.tokyo.jp/>  
運営の仕方はこれから少しずつ変わっていくだろう。パフォーマー同士でうまく回していけるようになれば、と吉田さんは望む。「大道芸は、行政が管理するようなものではない。行政の仕事は、場所を提供するまで」。  
これから  
ヘブンアーティストの募集は、今後も行われる。まずは年内にもう一度募集する。取得したライセンスは、一年ごとに更新していく予定。規定通りに活動していれば、無条件で更新できる。  
公開オーディションの模様等が多くのメディアで取り上



©Matthieu



文と写真【ひこ】

げられたこともあり、各方面で反響を呼んでいる。  
都の事務局には、他の自治体からも問い合わせが来ているという。もしも、この制度が全国に広がっていったならば、大道芸人の活動の仕方が変わっていくのかもしれない。

熱血コラム 大道にほえる！ 「で、静岡は？」

「静岡の大道芸は、観光で何か？」  
今回話を聞いた都職員吉田さん。静岡の「大道芸ワールドカップ(WC)」は、役所のどの部署が担当しているのかという文脈である。静岡市は「健康文化部・観光レクリエーション課」。東京の「ヘブンアーティスト」は、「生活文化局・文化振興部」。  
静岡が「観光」をメインの目的に大道芸イベントを始めたのに対し、東京の場合は、「文化」の育成として取り組んだ。「静岡市の「文化振興課」は「大道芸」を担当していない」  
大道芸は、その性格から人集めやにぎわいづくりのツールとして使われることが多い。静岡も発端はそうだろう。  
しかし、大道芸を本当の意味で根付かせていくためには、消費するだけでなく、育成するという視点が必要だ。  
事実、静岡では「大道芸WC」等で興味をもってパフォーマーを始めた若者が、東京や名古屋など大都市に流出していくというケースが多い。逆に「大道芸をやるため静岡に移住してきた」という人は聞いたことがない。  
静岡の街が日常に大道芸をやるのに適していないとは私  
は思わない。好条件もいくつかある。まず、WCで大道芸に慣れ親しんでいる市民が多い。認知が高いためか歩行者天国の道路上で大道芸をやっても、マナーを守っていれば取り締まられることはない。ではなぜパフォーマーが定着しないのか。ひとつには、大道芸をやる場所が少ない。ホコ天でも、ある程度人の集まりやすい場所でない、大道芸は定着しない。静岡の現状を見ると、数少ない大道芸ポイントに数組のパフォーマーが順番待ちしている状態である。  
東京の「ヘブンアーティスト」では、今まで大道芸をやらなかった場所を開放した。静岡も、大道芸を文化として育てていきたいならば、まずは「場所」を創造していく必要がある。  
文化の育成というのは、もちろん行政だけの取り組みでは為しえない。NPOを含め、市民一人々の意識によるところが大きいだろう。  
大道芸を消費するだけではなく、応援し育んでいくという意識を持ち続ける者こそが、本物の「大道芸愛」を抱く大道芸ファンなのだと思う。  
【ひこ】



# 大道芸 第4話 「痛感」

http://www.geocities.co.jp/Bookend-Hemingway/1105/

前回「再び会える偶然」の喜びを書かせてもらった。この夏は正に「再会」の嵐だった。あちこちで大道芸をして、たくさんのお客さんに声を掛けて頂いた。また会える偶然と喜び。励みになる。

でもやつと解った事もある。道行く人々の中には私達大道芸をする者を、温かい目で見下さる人と、そうでない人がある。という事。当たり前な事なんだけど、それに気が付かされる事柄に、この夏は出会った。

よその地方で、芸人さんがネタとしてお客さんに毒を吐いたのが問題となった。大勢の人の前で「侮辱を受けた」とお客さんが受け止めた事が原因である。その場所での大道芸は現在休止されている。

また静岡でも「待ち」の芸人のありかたが小さな（私にとっては大きな）問題になった。道具が片付いていない事で「街の美化を損なう」ように感じられる点、芸人その他の「道端に座り込んでいる」ように見える事への不快感等が新聞の投書欄に掲載された。大道芸をする側と見る側の視点や感じ方の違いが表面化されたのだと思う。それを問題として提議した人が、大道芸自体を毛嫌いしているかと言えば、そうではない。むしろ好きだからこそ他の人が気づかない所に目が行くのだと思う。

芸をするだけでなく、もつと芸人が周囲に気を配る事で、今以上に大道芸が楽しくなるのであれば。私達も芸以外に出来る事があるはずだと思ふ。

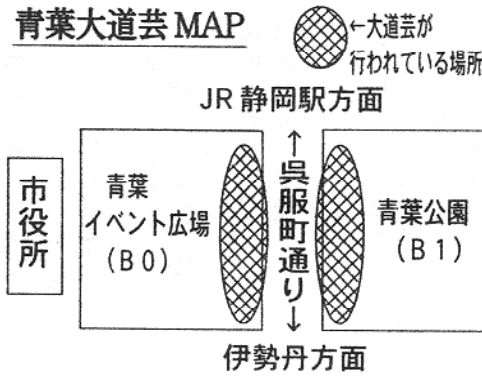
ふれあいながら、お客さんの声に耳を傾けながら、楽しく大道芸をしていきたい。一瞬の出会いが永遠の思い出になるような。それには芸人個人のマナーアップも必要ではないかと思う、今日この頃なのだ。

【にゃんこ】

## しまる会リポート 青葉公園での大道芸について

「しずおか大道芸のまちをつくる会」として青葉公園の大道芸での使用許可を取り始めてから、すでに一年が経った。この一年を通じて見えてきた青葉大道芸における問題点やそれに対して、或いはそれ以外の部分で会としてサポートできることとは何か、回数を重ねるにつれて少しずつわかってきたことを報告する。

### 青葉大道芸MAP



まず公園の場所取り状況について、他のイベントの予約が多い時期、特に春と秋はほとんど使用許可を得ることができない。もし、許可を得ることができたとしても、あとからイベントが入ることもあり、その場合、大道芸は中止

となってしまう。春と秋は、大道芸を行う上でも良い時期であるだけに、痛い。しかし、夏は比較的场所取りが容易な上、青葉公園B1がちょうどいい木陰となり、大道芸を見るお客さんものんびりできる。青葉公園B1は、呉服町通り沿いのライオンの像がある側の区画である。逆に冬は公園を吹き抜ける風が強い日が多く、場所を確保しても大道芸を行うのはかなり厳しいことが多い。

次に実際の青葉公園での大道芸について。主に市役所前の青葉イベント広場（B0）か、道路をはさんで向かい側の青葉公園B1で行われるが、その間の道路において、募金や物売り、様々なキャンペーンが行われていることが常である。中には道路使用許可を得て活動している人たちもいて、会としては、こうした人々とその場で活動場所・時間等を話し合い、お互いの邪魔にならないよう心がけている。

また、公園の入り口にある杭が、大道芸を行う上でこれまで障害となっていたが、市役所の管理事務所が杭を撤去する鍵を借りられることがわかり、この問題は解決した。

最近になって、会の場所提供の元でパフォーマンズした演奏グループに対し、周囲の住民からうるさいとの苦情があり、会始まって以来の警察沙汰となった。幸い話し合いで解決したが、パフォーマンスの音に対するケアが必要だ。度を過ぎた音量に対しては注意をしていく必要がある。青葉公園での大道芸は、お客さんが多く集まりすぎると公園の出入り口を完全に塞いでしまうことがある。これまでに大きな問題にはなっていないが、大道芸の最中の公園の出入り口の確保についても会としてサポートすべきだ。

今後、青葉大道芸の予定が街の人にもわかるように、当日公園内に看板を設置する予定だ。ストリートミュージシャンも含め、青葉公園全体の様子を看板によって伝えられれば、パフォーマンズ通りとしての青葉公園の魅力のアピールしていくことができる。

これから先、新たな問題が噴出してくる可能性は充分にあるが、その都度、修正・改善していくことでよりよい青葉大道芸の環境作りに会全体として務めていきたい。

【あまる】



# 大道芸 いんぷお

## 青葉通り

場所：青葉通り  
 11月23日(土) B0(市役所側)  
 午後1時～ 雨天中止。  
 パフォーマーについては左記URLをご覧ください。  
[http://members.tripod.co.jp/daidogei\\_machizukuri/](http://members.tripod.co.jp/daidogei_machizukuri/)  
[daidogei\\_machizukuri/](http://daidogei_machizukuri/daidogei_machizukuri/)

## アクトシティ浜松

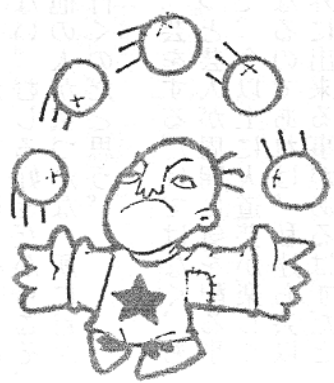
場所：アクトプラザ  
 二階北側外  
 (ガレリアモール)  
 10月27日(日) ダイスケ  
 1回目 午後1時～  
 2回目 午後2時～  
 入場無料

## 大須大道町人祭

今年で25回目にもなる、名古屋の大須で行われる大道芸イベント。  
 静岡からはRush of Windが初出演!!  
 10月19日(土)・20日(日)  
[http://www2.starcat.ne.jp/~hida/main\\_25.html](http://www2.starcat.ne.jp/~hida/main_25.html)  
 TEL 052-261-2287

## 大道芸ワールドカップ

大道芸W杯 IN 静岡 2002  
 今年で第11回目。  
 「ワールド」「オン」「オフ」という3つのカテゴリで実施。詳細は書店で販売している公式ガイドブックをご覧ください。  
 場所：静岡市駿府公園  
 及び市内各所  
 11月1日(金)～4日(振替休)  
<http://www.daidogei.com/>  
 TEL 054-205-9840



## ストリートフェスティバル

第3回ストリートフェスティバル IN 静岡。多数のアーティスト、ミュージシャンが出演します。  
 今年のテーマは「C (si:)」  
 場所：青葉通り(雨天決行)  
 11月16日(土)  
 午後1時～午後7時  
 11月17日(日)  
 午前11時～午後6時  
<http://www.streetfestival-shizuoka.com/>  
 TEL 054-255-4746

# 路 狂 道 芸

## 足踏

場所：青葉通り  
 10月14日(月・祝)  
 午後1時～午後4時  
 11月3日(日) 午後2時～  
 11月24日(日) 午後2時～

## Misato&Shin

場所：青葉通り  
 毎週日曜 午後2時～  
 \* SBSラジオ  
 「Misato and Shinのらじおの王子様」放送中!  
 毎週水曜日  
 午後9時45分～10時  
<http://www002.upp.so-net.ne.jp/sots/>

## Amusement Tao

場所：青葉通り  
 毎週金曜日  
 \* SBSラジオ  
 「Amusement Taoのらじおの王子様」放送中!  
 毎週木曜日  
 午後9時45分～10時  
<http://www.taoweb.org/>  
**【泉】**

## パフォーマー募集!

当会では、青葉通りでパフォーマンスを披露してくれるパフォーマーを随時募集しています。  
 プロ・アマ、ジャンルは問いません。  
 お問い合わせ等、お気軽にどうぞ!  
 (下段最左部の連絡先まで)

## サポーター(会員)募集!!

当会は、静岡の街なかで日常的に大道芸を楽しめるまちづくりを目指しています。  
 会の活動を応援してくれるサポーターを大募集中です!  
 サポーターのみなさんには「しずおか大道芸新聞」をお届けします。  
 年会費は、一口五百円(年度単位)で、お一人様何口でも!

## 新聞スタッフ募集!!!

しずおか大道芸新聞の編集スタッフを募集しています。  
 単発の投稿や連載企画、イラスト等も大歓迎!  
 興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。  
 新聞へのご意見やご感想もお待ちしております。

## ◇編集後記◇

Supercalifragilisticexpialidocious!  
**【泉】**

今回は全体的に内容がカタかったかね。チョビ反。  
**【ひこ】**

岐阜の芸人ばびーです☆  
 いんぷおのデザインを担当しました。昔とったきねづかつ☆  
 一時期デザイナーを目指した  
**【ぼびー】**

どっこいしょ青葉! **【あまる】**  
 今号のイラストは、フランスの芸人 Mathieu が大道芸新聞のために描いてくれました。  
 うっひょー、グローバル!

しずおか大道芸新聞 第5号  
 二〇〇二年十月十日発行  
 発行部数三〇〇部  
 編集・発行  
 しずおか大道芸のまちをつくる会  
[http://members.tripod.co.jp/daidogei\\_machizukuri/](http://members.tripod.co.jp/daidogei_machizukuri/)  
[daidogei\\_machizukuri/](http://daidogei_machizukuri/daidogei_machizukuri/)  
 (代表) ひこ  
 〒422-8041  
 静岡市中田4-5-28-201  
 電話・070-5647-4024  
[hikoz@tokai.or.jp](mailto:hikoz@tokai.or.jp)